

質問	プレガバリン OD 錠 150mg「ケミファ」の簡易懸濁法での投与は可能ですか？
回答	プレガバリン OD 錠 150mg「ケミファ」は約 55℃の温湯で 10 分以内に崩壊・懸濁し、8Fr.のチューブ及び 18Fr.ガストロボタンフィーディングチューブを通過しています。 また、調製懸濁液の pH は 7.57 であり、調製 10 分後まで含量が安定であることを確認しています。詳しくは添付のデータをご覧ください。 本資料の情報に関する注意：本資料には承認を受けていない品質に関する情報が含まれます。試験方法等が確立していない内容も含まれており、あくまでも記載されている試験方法で得られた結果を事実として提示しているものです。医療従事者が臨床適用を検討する上での参考情報であり、加工等の可否を示すものではありません。
参考資料	【プレガバリン OD 錠 150mg「ケミファ」】 簡易懸濁法に関する資料